林業成長産業化地域創出モデル事業の取り組みについて

森林所有者意向把握及び集約化に関する アンケート調査から見えてきたもの

山口県 長門市



成長戦略の取り組み

現状•課題

人口減少 若者離れ

1次産業者の減少 産業の衰退・・・

H25~H29

第1次 ながと成長戦略行動計画 目標 雇用創出 ・ 所得向上

H30~H34

第2次 ながと成長戦略行動計画

目標 中核産業の活性化 ・ 雇用創出

持続可能な地域産業の活性化を目指す

主要な取組

交流人口 の拡大 林業成長 産業化

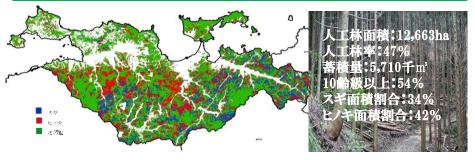
人財育成

全国発信

長門市の森林の状況

- ·森林面積:26,839ha(森林比率:75%、総面積:35,731ha)
- ·国有林:144ha(1%)
- ·民有林:26,695ha(99%)
 - ⇒ 公有林:4,755ha(18%、うち市有林:4,390ha(16%))

私有林:21,938ha(82%)



市長の想い

- ●総面積の75%を占めるこの山を どうにかしないといけない!
- ●林業・木材産業を成長させ、 雇用を生み、担い手を確保したい!

林業・木材産業の振興に必要な施策

- 1.『太育の推進』
- 2.『市内産木材を活用した公共施設の建設』
- 3.『林業成長産業化』

3. 『林業成長産業化』

林業成長産業化地域創出モデル事業

林野庁の「林業成長産業化地域」として、全国16箇所のモデル地区の1つとして採択

【事業の内容】

- ① 素材生産量の拡大・森林利益還元システムの構築
- ⇒ 主伐、再造林にシフトした新たな包括経営手法(森林経営信託等)の開発・導入 等
- ② 新法人の設立・担い手確保育成
 - ⇒ 成長産業化に資する事業の司令塔的機能を持つ新法人の設立、素材生産事業者の技術向上と木材産業の人材 育成・確保・定着を支援 等
- ③需要の確保・拡大
 - ⇒ 木材自給・外商とエネルギー地産・地消の推進 等

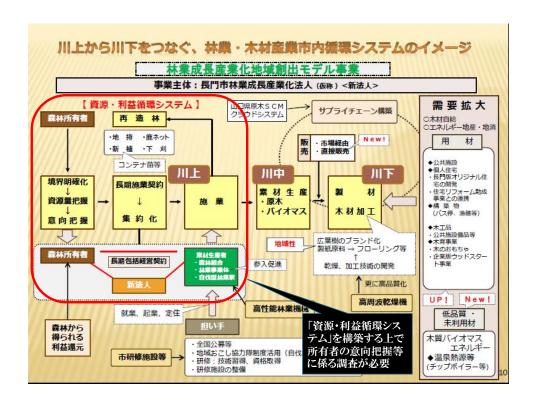
【これまでと今後の動き】

- 平成30年1月31日、「長門市林業・木材産業成長産業化推進協議会」設立・林業成長産業化地域構想の具現化に向け協議開始
- 協議会の中に3つの専門部会を設置
- 素材生産・森林利益還元システム部会
- 新法人設立·担い手育成部会 需要拡大部会(地産地消型·大量消費型)
- 新法人設立に向けた調査研究

- ・地上レーザー側呈開査(広葉樹林)
 ・航空レーザー側量実施区域の選定
 ・森林所有者意向把握等アンケート調査
 ・ 横苗農家との協議
- コンテナ苗の生産量調査等







成長産業化への取組事例(序章)

調査コンセプト

- •森林所有者の意向把握
- •森林の集約化
- 素材生産・森林利益還元システム部会において 調査項目等を検討
- ➤ 平成31年度から始まる森林管理システムにも対応 したアンケート調査票を作成
- 地元森林組合の組合員を対象に実施 ※実際に山の管理を行っている組合員は、全体の 約2割程度
- > アンケート調査票の配布を森林組合の会報誌に同封

森林所有者の状況

【現状と課題】

- ・所有者1人あたりの所有面積が小さい。
- ・放置状態の山林が増えている。(高齢化、都市部等への移住等)
- ・相続手続き等がなされておらず、所有者不明山林が増えている。
- ・所有者不明等により、山林部における地籍調査が停滞している。

森林所有者の状況

森林所有者数:9,933人

長門地区: 3,367人

三隅地区:1,342人

日置地区:1,800人

油谷地区: 3,424人



森林組合員の状況

森林組合員数:3,936人

長門地区: 1,189人

三隅地区: 775人

日置地区: 514人

油谷地区:1,458人

アンケート調査票

【アンケート内容】

- I 所有山林の現状について
 - ⇒ 問1~問11
- Ⅱ 所有山林の今後について
 - ⇒ 問12~問13
- Ⅲ森林の団地化・集約的作業

について

- ⇒ 問14~問19
- Ⅳ 長門市の推進する施策について
 - ⇒ 問20
- Ⅴその他
 - ⇒ 間21

長門市に山林をお持ちの方への アンケート調査

- アンケートにお答えいただくにあたってのお願い ■
- ごのアンケートは、長門市が実施している「林業成長産業化地域創出モデル事業(※)。 における「山林所有者の趣命調査」に関するものです。
- 2. また、長門市では、市外の山林を選加に管理していくため、平成30年に動たに動定された森林経営管理点(※)に基づいて、所有者の高様の今後の経営や管理の側向などをお伺し、これを踏まえて、市による経営管理権(※)の設定などについて、検討してまいります。
- 3. お聞きする内容は、**所有されている山林**に関することです。
- 4. 所有されている山林について、ご判断出来る方がお答え下さい。
- アンケートの総制には、該当する番号に○をつけていただくもののほかに、具体的な 内容の記述をお願いしているものがあります。可能な範囲でお答えください。
- アンケートの設問の中には、設問を選択して回答していただく問題がございます。
 ご回答いただく前に、各般間をしつかりとお読み下さいますよう
- 回答は、この調査票に直接ご記入いただき、平成30年11月 9日(金)までに 同封の封筒にてご投資下さいますようお憩れいたします。
- 【アンケートの記載に関する問い合わせ先】

長門市役所農林課 林務係

【担当者】角谷、永尾 電話:0837-23-1325

- ※「林寧成長産業化地域輸出モデル事業」とは、林華の核長産業化に向けて、新たな体制を構築し、通正な済林の整備や環境への設造を図りつつ、木材生産量の拡大、森林での働き手の機保、木材需要の拡大等を推進していく事業です。
- ※ ご回答内容は集計結果のみを活用させていただきます。
- ※ 個人名、企業名を外部に公表することは一切ございません。
- ※ 調査後、お預かりしている個人情報の開示・削除等のお申し出、その他のお問い合わせに関しては、 上記担当者までご勤格下さい。
- ※ 森林経営管理法、経営管理権については、別紙の説明をご確認ください。

アンケート配布数

地区名	全体	地区内	地区外	不明	配布しない (共有林等)
長門	1,189	1,016	47	89	37
三隅	775	584	42	101	48
日置	514	434	19	47	14
油谷	1,458	1,059	74	179	146
計	3,936	<u>3,093</u>	<u>182</u>	416	245

地区内3,093人+地区外182人=3,275人に配布

アンケート集計結果

回収結果

長門地区 170人/1,016人 回収率:17%

三隅地区 72人/ 584人 回収率:12%

日置地区 64人/ 434人 回収率:15%

油谷地区 88人/1,059人 回収率:8%

市外 75人/ 182人 回収率:41%

地区不明 5人

全体 474人/3,275人 回収率:15%

【見えてきたもの①】

・森林所有者の山への関心度が低い

アンケート集計結果

I 所有している山林の現状について 問2:所有山林の場所はわかりますか?

わかる	250	52.7%
一部わかる	171	36.1%
わからない	47	9.9%
無回答	6	1.3%
合計	474	

問3:所有山林の所有境界はわかりますか?

境界が明確にわかる	92	19.4%
境界が大体わかる	160	33.8%
場所はわかるが、境界は 不明である	124	26.2%
わからない	95	20.0%
無回答	3	0.6%
合計	474	

間4:所有山林の境界を明確にしたいと思いますか?

1101年11月1日日44407596316日	- 193 HERCO/CV C/	W 2 2 4 .
既に行っている	131	27.6%
ぜひ、行いたい	96	20.3%
機会があれば、行いたい	190	40.1%
わからない	38	8.0%
行いたくない	9	1.9%
無回答	10	2.1%
合計	474	

問7:所有山林の日常的な施業(手入れ)はどのように

一 行っていますか?		
施業はしていない	311	65.6%
自分(家族等)でしている	65	13.7%
森林組合にお願いしてい る	37	7.8%
森林組合以外にお願いしている	3	0.6%
日常的とはいえないが、 3年以内に行った	22	4.6%
その他	23	4.9%
無回答	13	2.8%
合計	474	

問8:所有山林について、過去10年以内に間伐などの 整備をされましたか?

金属をされました。	<i>)</i> ~ [
整備をした	100	21.1%
整備をしていない	308	65.0%
わからない	38	8.0%
その他	14	3.0%
無回答	14	3.0%
合計	474	

アンケート集計結果

I 所有している山林の現状について

間9:所有山林の管理について、後継者はいますか?

いる	253	53.4%
いない	189	39.9%
無回答	32	6.8%
合計	474	

問11:【所有山林に後継者がいない方】次の選択肢から 該当するものをお選びください。

山林管理を林業事業体 (森林組合等)に委託し たい	69	14.6%
後継者を探したい	10	2.1%
所有山林の売却を検討 したい	49	10.3%
所有山林の譲渡を検討 したい	14	3.0%
わからない	79	16.7%
その他	12	2.5%
無回答	241	50.8%
合計	474	

【見えてきたもの②】

- ・約9割の所有者が山林の場所をある程度 認識している。
- ・場所をはっきり認識でき、境界も明確にわ かる所有者は4割に満たない。
- ・地籍調査の進んでいない地区でわからな いが多数存在。
- ・約6割の所有者が境界の明確化を希望。
- ・森林組合の組合員であっても実際に山林 管理を実施している所有者は約3割にとど まっている。
- ・約8割の所有者は山林の施業(間伐等)を 行っていない。
- ・5割を超える所有者に後継者あり。
- ・後継者がいない所有者の約7割が、山林 の今後についてどう対応すべきか迷って いる。

アンケート集計結果

Ⅱ所有している山林の今後について

問12:所有山林について、どのような管理や施業をした

いと考えていますか?			
自分で管理も施業もやっ ていきたい	58	12.2%	
自分で委託先を探し管 理や施業を委託したい	37	7.8%	
既に他社に委託しており 引き続き継続して委託し たい	14	3.0%	
市に管理や施業をゆだ ねることについて検討	203	42.8%	
山林の所有の意思がなく 行政や民間に寄付・売却	74	15.6%	
その他	42	8.9%	
無回答	46	9.7%	
合計	474		

間13:所有山林を今後どのような山林にしたいですか? (複数回答可)

(複数回答可)		
当面は何もせず、木を大 きくしたい	145	24.7%
間伐をして、木を大きく したい	84	14.3%
皆伐して、植えなおしたい	20	3.4%
皆伐して、そのままにし たい	10	1.7%
森林組合と相談したい	133	22.7%
レクリエーションの場とし て活用したい	8	1.4%
わからない	159	27.1%
その他	23	3.9%
無回答	5	0.8%
合計	587	

【見えてきたもの③】

- ・約6割の山林所有者は、自分の山を何らかの形で経営管理したいという意向がある。
- ・ただし、そのうちの約4割が、市への管理や施業委託を希望。
- ・約1.5割の経営管理の意志が無い所有者を含めると約6割の所有者が市管理を希望。
- ・市管理を希望する所有者の中には、自分の所有山林の将来像を持つ方もいる。

アンケート集計結果

Ⅲ森林の団地化・集約的作業について

問14:自分の山林が他人の山林と一緒に管理されること をどう思われますか?(複数回答可)

をとり心474によりか! (複数四台刊)				
他人と一緒に管理され ても特に問題ない	261	38.8%		
補助金を受ける条件だとしたらやむを得ない	118	17.5%		
作業経費や原木の売上 が個別に正しく管理され るのであれば問題ない	180	26.7%		
自分の森林に道がつか なければ問題ない	18	2.7%		
どのような条件であって も他人の森林と一緒に 管理は嫌だ	34	5.1%		
その他	30	4.5%		
無回答	32	4.7%		
合計	673			

問15:集約化の意向はありますか?

1.422. >14/14/12 - 12/14		
ある	279	58.9%
ない	139	29.3%
無回答	56	11.8%
合計	474	

間16:林業事業体が、あなたの所有山林の施業を行う

ことついてとり思われますか?					
	特に問題ない	255	53.8%		
	嫌だ	31	6.5%		
	わからない	145	30.6%		
	無回答	43	9.1%		
	合計	474			

問18:今回のアンケートを通じて、森林や林業の専門 家とご自身の所有山林について、詳しい話を聞 きたいと思いましたか?

思った	245	51.7%
思わない	181	38.2%
無回答	48	10.1%
合計	474	

【見えてきたもの④】

- ・山林の一体管理については約8割以上が前向きな考えを持っているが、集約化への賛同者は約6割となっている。
- ・集約化を図っていく上で、所有者の納得のいく手法 (適正な山の見積り作成等)の必要性を確認。

アンケート集計結果

IV市の推進する施策について

問20:林業・木材産業の活性化のために、今後積極的に 取り組むべきと思われる施策をお選びください。 (複数回答可)

森林資源の調査	132	7.8%
境界の明確化	210	12.5%
森林集約化の推進	138	8.2%
林業用の路網の整備	180	10.7%
木材伐採の促進	76	4.5%
伐採した後の植林に対 する支援	119	7.1%
長門材を活用した長門 型住宅の普及	72	4.3%
広葉樹を主とした長門材 のブランド化	70	4.2%
木質バイオマスを活用し たエネルギー利用促進	139	8.2%
獣害対策	186	11.0%
林業に従事する人材の 育成	179	10.6%
森林教育	56	3.3%
森林を活かした観光	58	3.4%
その他	15	0.9%
無回答	55	3.3%
合計	1,685	

Vその他《自由意見(抄)》

- ・先祖より引き継いだ山林ですが、高齢になり管理ができ ていません。管理手法や有効利用を検討してください。
- ・市や森林組合に管理してもらいたい。市の木材として販売できるようにブランド名をつくってもらいたい。私個人の山林は売却又は譲渡(寄付)を検討したい。共有林も所有しているが、共有者が皆高齢のため管理ができていない。
- ・森林を守り育てることは大切なことだとわかっていても、 大赤字になると思うと手入れをすることに踏み出せない。 儲かることができなくても管理にかかる自分の手間賃ぐ らい晴えて赤字にならなければ贅沢は言えないと思う。
- ・担い手の確保育成のためにも、働き手はきちんと儲かる トさな林業に成長させてまらいたい
- ような林業に成長させてもらいたい。 ・必ずや日本育ちの木材の活躍する時代になると思う。
- ・森林→腐葉土→雨水、河川→海→プランクトン→魚→ 食卓、と自然が繋がり合っていることをPRして、山が荒 れると海がやせることを広く知ってもらうべき。
- ・個人所有の山林を集め、市全体での総合的な管理の下、 管理経営を行うことが林業の新しい方向性であると確信 している。
- ・森林資源の有効活用のためにも、境界の明確化として地籍 調査を早急に実施してほしい。

アンケート集計結果

【まとめ】

- ・山への関心度が低い
- ▶ 所有者の高齢化、都市部への移住等による放置森林に対する対応が必要
- ▶ 山からの収入 ≦ 施業コストの改善に対応した施策の展開
- 境界の明確化(リモートセンシング技術等を活用した地籍調査手法の早期導入及び法 改正に関する要望)
- ・施業集約化等を推進するため、所有者の意向を踏まえた手法の検討が必要
- 自治会単位での説明会等の開催
- 森林組合との連携による各地区の総代及び参与員との協議
- 長期的な事業計画(路網整備、施業計画等)の作成
- 森林資源量調査から得られたデータ等を活用した適正な山の見積書の作成及び集約化対象地区の適正な選定
- ・31年度から始まる森林管理システムへの対応
- ▶ 今回のアンケート調査から得られた知見の活用
- ▶ 適正な調査手法(アンケートの回収率向上等の改善策)の検討

ご清聴ありがとうございました

山口県 長門市